

「創」の会派意見を申し上げます。

令和２年度は新型コロナウイルス感染症流行により、当初の事業計画の見直しが迫られ、感染症対策等の追加の費用も含めた５回の予算補正により、異例の巨大な決算規模となりました。

その中で、私たち会派は、

- ・コロナ禍においてもしっかり行うべき事業を実行し、目標達成できたのか
- ・区民への行政サービスの質を落とさずに提供できたのか

に重点を置き審査し、それぞれの事業について、実施の可否の判断、実施方法の検討などが適切に行われ、そのための費用も適正であることを確認しました。

さらに、決算の審査の過程で指摘した以下の項目について、令和４年度予算に反映されることを求めます。

- ・特別区税の猶予や分割納付、国民健康保険料の減免や分割納付等が必要な区民の困窮に寄り添った課題解決支援
- ・基金の活用計画の明示と特定目的基金の整理
- ・必要不可欠な投資的経費の起債検討と区民サービス低下防止

- ・ハラスメント相談の男性の利用率向上
- ・ネットモラル・マナーの改善啓発強化
- ・会計年度任用職員、特に女性割合が高く、住民に身近なサービスを行う、専門資格職の待遇改善
- ・同一労働同一賃金の徹底
- ・育成室、男女平等センターのWi-Fi整備
- ・マーケットデザイン、マッチング理論を活用した最先端のDX導入

- ・災害備蓄物資の整理、在宅避難準備の区民啓発強化
- ・神田川流域の垂直避難先の新規協定推進
- ・要支援者の事前トリアージによる福祉避難所への直接避難のしくみづくり

- ・東京ドームでの成人式開催の検討
- ・Bーぐる第４路線の検討
- ・千駄木・白山交流館の建て替え検討

- ・文化資源担当室と文化財保護係の統合、学芸員の常勤化・育成
- ・教育の森に２０２０東京オリンピック・パラリンピックの記念樹植樹

- ・食品ロス削減や食品安全、地球温暖化対策、国際理解など、エシカル消費とSDGsの啓発推進。
- ・区の支払い業務の迅速化
- ・経済支援策の事業評価や経済効果分析の実施
- ・区内中小企業、商店の経営実態、区民の生の声を聴いた施策展開

- ・高齢者の見守り強化
- ・認知症診断事業への聴力検査・聴覚検査追加による進行抑制、早期発見
- ・区と連携した高齢者クラブ活性化

- ・医療的ケア児保育支援事業の現場での課題の早期発見
- ・新たな孤立・孤独に対応したひきこもり支援施策の展開
- ・コロナフレイルの進行を食い止める事業の推進
- ・育児支援ヘルパー事業のヤングケアラー支援への拡大

- ・さらなる自殺対策強化
- ・未熟児の保護者の精神的負担軽減支援とリトルベビーハンドブック導入
- ・胃がん、大腸がん検診率の向上
- ・ハッピーベジタブル大作戦の周知強化と野菜を摂りやすい環境づくり
- ・さらなる保健所体制を強化、保健師増員
- ・風疹ワクチンの啓発強化

- ・一時自転車駐輪場の増設
- ・東京ドーム・三井不動産との良好な関係づくり、都心エリアの新しいまちづくりの協議開始
- ・バリアフリー基本構想の当事者目線の間接評価、電子バリアフリーマップの作成
- ・ゼロカーボンシティ宣言

- ・オンライン・ハイブリッド授業に関する教員研修等のさらなる充実
- ・子どもたちの体験学習機会の充実
- ・子どもの視力低下予防

- ・ジェネリック医薬品のさらなる利用拡大
- ・糖尿病性腎症の重症化予防と生活習慣病予防啓発強化
- ・傷病手当金のフリーランスへの適用

- ・介護給付費準備基金を活用した介護保険料軽減

以上の意見を付し、会派「創」は令和２年度一般会計決算、及び３特別会計決算を認定します。